

生い立ち

戦後の荒廃の中、中小企業は国民の生活を支える一翼として、ただちに生産活動を開始しました。

そうした中で、中小企業の社会的地位の向上を求める活動も始まり、昭和22年に全日本中小企業連盟（全中協）が結成されました。

昭和30年代に入り、中小企業団体の制定など、行政による中小企業の組織化がすすめられていきました。これに対して全中協の有志は「中小企業の繁栄のためには団体法ではなく中小企業家自身による自主的な組織が必要であり、自己の意識と力で団結して活動することが真の姿である」との考えから、1957年4月26日、東京で日本中小企業家同友会（現東京同友会）を設立しました。

このことが各地に新風を巻き起こし、翌年には大阪に同友会が誕生し、更に愛知、福岡、神奈川などに広がっていきました。そして1972年7月15日、それまで名古屋同友会に参加していた経営者を中心に、全国で9番目の同友会として、岐阜同友会が40名で結成されました。

その後も全国へ広がり続け、2005年の秋田を最後に同友の輪は全都道府県に広がりました。また、1969年には、全国各地の協議体として、中小企業家同友会全国協議会（中同協）結成。2016年5月現在、加盟会員数45,000名を超えています。

同友会の入会方法

いつでもご入会できます。入会申込書に、入会金と会費を添えてお申し込みください。
お知り合いの会員の方にお申し出いただくか、事務局までご連絡ください。

同友会の会費

- 入会金 / 20,000円
- 会費 / 月額6,000円

※会費は3ヶ月(1月、4月、7月、10月)ごとの前納です。



全国45,000名を超えるネットワーク

中小企業家同友会全国協議会主催

全国4大行事

- 定時総会
- 中小企業問題全国研究集会
- 青年経営者全国交流会
- 女性経営者全国交流会

その他の全国行事

人を生かす経営全国交流会 / 社員教育活動全国研修交流会 / 労使問題全国交流会 / 障害者問題全国交流会 / 地球環境問題交流会 / 全国広報情報化交流会 など



岐阜県中小企業家同友会

〒500-8259 岐阜市水主町1-176-2 ピースランドビル3F
TEL 058-273-2182 FAX 058-274-8798
E-mail info@gifudoyu.jp http://www.gifudoyu.jp

経営者のあらゆる悩みを、

共に考え、解決する集い、

それが岐阜県中小企業家同友会です。

岐阜同友会

岐阜県中小企業家同友会

同友会の性格

同友会は任意団体であり、中小企業家が自主的に参加し、手作りの運営を心がけ、中小企業家のあらゆる要望に応じて活動するという特色があります。

同友会は、考え方や社会的立場、業種、企業規模にとらわれず、大いに見聞をひろめ、企業の繁栄をめざそうとする中小企業家であれば誰でも入会できます。

会の財政は入会金、会費を中心とした会員からの収入で成り立っています。

政治にたいする同友会の姿勢は、会の目的を達成するために、どの政党ともわけへだてなく接触しますが、会としては特定の政党と特別な関係をもたないようにします。

会員個人の思想・信条の自由は、当然のこととして保障されています。



活動（同友会がめざす企業づくり）

1 会員の経営体験に基づいた例会

会員経営者の経営体験報告から学ぶとともに、グループで討論します。参加者自身の経営におきかえて、企業と経営者のあり方の核心に迫る意見の交換を心がけています。

2 労使の信頼関係を強める活動

中小企業家同友会は、1975年に「中小企業における労使関係の見解（＝労使見解）」を発表しています。経営者の経営責任、対等な労使関係などについての考え方を明らかにしたもので、その見解の実践として経営指針確立運動や社員教育活動が始まりました。

3 経営指針確立の運動

中小企業家同友会では、経営理念、経営方針、経営計画を総称して「経営指針」と呼び、会員企業で経営指針を確立していく運動に取り組んでいます。

4 社員教育活動

「働かされる」のではなく、自分の頭で考えて行動し、顧客の求めるものに積極的にこたえられる社員が育つ企業づくりをめざしています。

5 共同求人活動

学生に生きがい働きがいを提示できる魅力ある企業づくり、採用した若い社員が育つ風土づくり、地域における中小企業への理解の促進などをめざしています。

6 障がい者問題の取り組み

中小企業において障がい者雇用を推進するため、雇用経験の交流、特別支援学校等関係者などとの交流や、障がい者とともに生きる街づくりの研究などに取り組んでいます。

7 中小企業をとりまく経営環境を改善する活動

中小企業の経営努力が報われる経営環境をつくるため、様々な政策活動を行い、金融、税制、労働、教育、地球環境など多岐にわたる要望・提言活動を行っています。

8 景況調査などの調査研究活動

会員企業を対象に年4回、景況をはじめ金融、賃金、労働実態などの調査・分析を行い、会が発行する機関誌やマスコミへ発表しています。

9 その他の活動

企業後継者育成などを目的とした青年部活動、女性経営者・経営者夫人が経営者としての実力を高める女性部活動、異業種・同業種の企業間交流・ネットワークづくりをすすめる活動などを行っています。

同友会の理念

同友会の3つの目的

良い会社をつくらう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

良い経営者にならう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

良い経営環境をつくらう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

自主・民主・連帯の精神

自主

同友会はほかのいかなるところからも干渉や支配をうけず、会の主体性を守り、会員の自由選択権を保障します。

民主

会の運営は会員の要求や意見に基づいて行い、ボス支配がおこらないようにし、民主的なものの見方や考え方を会員企業においても積極的に広めていきます。

連帯

会員同士たすけあい、あらゆる階層の人たちと手を取りあい、相互の高まりあいから生まれる深い信頼関係（高い次元でのあてにしあてにされる関係）を築いていきます。

国民や地域と共に歩む中小企業

豊かな国民生活

企業活動は豊かな国民生活の実現に貢献するものであり、反国民的であってはならないと考えます。

社会的使命

中小企業はすぐれた製品やサービスを提供し、人々の暮らしの向上と地域経済の繁栄を保障するという社会的使命を負っており、その社会的使命感と責任感を大切にしたいと考えます。

地域おこしまちづくり

地域のさまざまな問題にたいし、私たちは中小企業家の立場から提言し、かつ自治体や地域の人々と共に地域おこし、まちづくりに行動することが必要と考えています。

特徴

Gifu Doyu 自由に

入会も退会も自由意思で、自主的に決めていただけます。例会への出席をはじめ、あらゆる活動について参加を強制されたり、不参加によるペナルティなどはありません。

Gifu Doyu 社員と共に

社員の力をもっと引き出したい、社員との信頼関係を築きたい、などの課題を共に考え、解決していく場が同友会です。同友会では“経営者と社員が共に育つ社風づくり”をめざしています。

Gifu Doyu 地域づくり

元気な地域づくりを担う中小企業の経営者の組織として、同友会は地域内の関係機関と連携をはかりながら活動しています。同友会に入会し、地域づくりの輪に加わりませんか。

Gifu Doyu 学びあい

経営者としての悩みは、社内や取引先には出しにくいものです。経営者同士学びあい、交流の中で励まし合い、お互いに成長していくことができます。同友会は早く“悩み”を出した方が学べる会です。

Gifu Doyu 仕事づくり

先々の仕事の確保が不安、仕事が減っているなど、多くの中小企業に共通した悩みです。中長期の展望は経営指針を確立することで明らかにし、会員同士質の高い情報交換を行いましょ。

